





## 北一協議体のこれまでの歩み

令和元年度

開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
平成31年4月3日	協議体 (8回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度事業予算の説明</li> <li>・第一層協議体への参加報告</li> <li>・初参加の3名の方の自己紹介</li> <li>・地域での活動紹介</li> <li>・ゴミの戸別収集</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉政策課松本係長より新年度の予算に関する説明を行う。</li> <li>・代表のI様より、第1層協議体への参加報告をしていただいた。</li> <li>・本日初めて参加された3名の方、従来メンバーと双方が自己紹介。</li> <li>・社協の活動、北二まったり木曜への参加報告、スクラップブックキング（つぼみのママ講座）の紹介と質疑応答を行いました。</li> <li>・ゴミの戸別収集の他市の現状の調査報告</li> <li>・仲間集めの為のチラシ作成</li> <li>・北一協議体活動の周知の方法について</li> <li>・213ささえ合い隊ニュース『北一版』の作成について</li> </ul>
令和元年5月8日	協議体 (9回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回お子さん連れで参加された方へのご意見を伺う</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活動紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供は可愛い</li> <li>・煩いなんて思わない</li> <li>・子供がいると高齢者のことばかりでなく子供の将来も考える</li> <li>・子育て世代が加わってこそ協議体の本来の姿に近づいたと思う</li> </ul> <p>⇒全員が大歓迎の意見で、お母さんには子供が煩いからなんて気にせず、どんどん参加してほしい。皆さん同じ意見でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あすかともいくサロン、出張マッサージ（さんぽあん）、子育て支援センター『つぼみ』サポーターの活動紹介、仮称『ふれあい連絡会』（第3層）の構想検討と今後のスケジュールの紹介</li> <li>・仲間を集めるチラシづくり</li> <li>・協議体の活動計画</li> </ul>

開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和元年6月5日	協議体 (10回目)	・フォーラムのお知らせと協力要請	・事前の説明なしで決定してから2層協議体への依頼は納得できない
		・地域の活動紹介	・いきいき広場の小物づくりサークルの活動をご紹介いただき、質疑応答を行った。
		・高齢者と子どものふれあいの場	・いきいき広場で高齢者と孤立化する子どものふれあいの場づくりを話し合いました。
		・北一協議体の活動計画	・前月よりの継続で北一協議体活動計画について話し合いました。
		・仲間を増やすチラシの活用	・継続テーマで仲間を増やすチラシについて話し合いました。
		・第1層協議体の報告	・北一代表I様より、第1層協議体に参加した報告をいただきました。
			
令和元年7月3日	協議体 (11回目)	・地域での活動紹介	・まるまる工房と新座自然宿さんの活動をご紹介いただき、質疑応答を行いました。
		・フォーラムの説明と発表資料の検討	・フォーラムでのパネル展示のルールの説明。そこに展示する北一の資料を市役所会議室で作成することを決定しました。
		・北一協議体HP立ち上げについて	・北一協議体の活動内容や蓄積した地域資源を提供するHP立ち上げに関して話し合いました。その結果HPに期待するものが個々人で差があることが分かりました。事前に目的とそれに則した内容を共有してから始める事となりました。放置したままのHPからは人が去って行くとのことご意見もありました。
			


開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和元年8月7日  	協議体 (12回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北一圏域協議体のホームページ立ち上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ開設には、データに対する責任が伴うので、データの正確性と常に新しいデータへの更新が絶対条件となる。それを行うのがマスター管理者。この役をだれが担当するか、大きな問題。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3層協議体立ち上げ報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月には理事会への周知活動、7月には住民向け説明会を市役所の福祉政策課の支援で行い、7月28日に第3層協議体を立ち上げた。住民14名が参加し、KJ法にて「あったらいいな」「それを達成するのに必要なもの」について、課題を全員で書き出した。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラム用パネル資料案の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦書きのパネルで表現するのに、案ではレイアウトが良くないと、180cmの長さをフルに使うと、パネル下部の文字を立った姿勢で読むことは困難。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの協議体の振り返りと今後について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議体とメンバーの地域活動は、相互に利用しあうことをもっと意識する必要がある。そこから輪が広がり、仲間を増やす効果も期待できる。5月に作成した仲間を増やすチラシをもっと活用することが必要。</li> </ul>
令和元年9月4日  	協議体 (13回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での活動紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ささえあい相談室と料理クラブの活動をご紹介いただき、質疑応答を行いました。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間を増やすチラシについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシをフォーラム当日配布する。欠品を出さぬよう、未改定で新たに100部増刷を決定。同時に改定の必要性の有無を次月話し合う。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラムの壇上発表の予行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラム当日の発表の予行を行いました。規定の持ち時間5分にピッタリの結果でした。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラム当日の配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示したパネル資料に足を止める人は少ない。フォーラム当日は、手の空いた人は、パネルの前に立って前に行く人を呼び止め、協議体のこの1年の活動と仲間を増やすチラシについて説明し、一人でも多くの方に我々の活動を理解していただけるよう活動する。</li> </ul>

開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和元年10月2日	協議体 (14回目)	・フォーラムの振り返り	・フォーラム来場者の方から、福進協と協議体の違いへの質問や共に活動ができないのか、そのようなご意見が多数あり、協議体として福進協の活動を学び、そして理解する活動を行う事を決定。
		・仲間を増やすチラシづくり	・広報に使われた文章に北一らしさを盛り込み、一目で興味を持ってもらえるよう、子供さんに向けた発信に長けたSさんと、広報活動に長けたYさんのお二人に、作成の中心となっていただく事を決定
		・地域の活動紹介の今後	・過去の発表組織を訪問し、困りごとやニーズの調査、活動の目的、訪問前後での気づき等を協議体に報告し、出来ることに協議体が手を差し伸べていく事を決定。
		・地域への情報発信手段	・もう一方では「ふれあい連絡会」のように、ボランティア組織として担い手を増やしつつ、活動の方向性を探る組織も増やしていく。
令和元年11月6日	協議体 (15回目)	・第1層協議体の報告	・フォーラムの来客数等の報告がありました。そのあとに生活支援体制整備事業の今後の方向性について話がありました。途中で第1層って何だろうとか、協議体と福進協のかかわりがどうなっているのか、そんな根っこの部分の話も出ました。
		・地域での活動紹介	・ファミリーサポートとTハウスどんぐりの活動を紹介していただき質疑応答を行った。
		・地域活動紹介先をお訪ねして	・何か支援できるかなと思った時、サポーターさんが支援しているので、高齢者に子育てママの知り合いになってもらいたいを実現したらどうか？
		・仲間を増やすチラシづくり	・5月につくったチラシを基にして、協議体の成り立ちは必須事項、自分のできることを出来る範囲でといった理念を盛り込んでつくったらどうかと思っています。
		・地元企業の地域連携	・野火止7丁目の東京ガスライフバルのショールームを、地域との連携で開放してもよいとの情報をキャッチし、コーディネーターが見学した上でその情報を報告しました。後日希望者と共に再度見学を計画。



開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和元年12月4日	協議体 (16回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初参加の方のご挨拶とご自身の活動紹介</li> <li>・地域での活動紹介</li> <li>・仲間を増やすチラシづくり</li> <li>・富士見市水谷東地域ささえ愛隊の見学報告</li> <li>・協議体の活動の地域への周知方法について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護ステーション「つくし」H様、東京ガス株式会社北部支店S様・K様の自己紹介とご自身の活動紹介。</li> <li>・O様の地域活動と介護保険のヘルパー支援の紹介と質疑応答。</li> <li>・提案した試作のチラシは、概ね好評だったが地図と地域資源の部分の修正を決定。次月修正案をこの場で提示する。</li> <li>・見学に参加されたM様より、地域ささえ愛隊の有償ボランティア活動の仕組みや感想について、皆さんにご説明いただきました。</li> <li>・協議体の活動の地域への周知活動には、町内会や民生児童委員そして老人クラブ等の協力が不可欠。更に新座市全域の問題である。そこで組織の各代表が参加されている、第1層協議体の場で協力を呼びかける事を決定しました。</li> </ul>
令和2年1月8日	協議体 (17回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での活動紹介</li> <li>・仲間を増やすチラシづくり</li> <li>・協議体の活動を地域へ周知する方法について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Tハウスどんぐりの活動紹介と困りごとや家事を代行する仕組みづくりについて検討を行いました。</li> <li>・前月の指摘事項を修正したサンプルに関して意見交換しました。意見交換した結果、地域資源はこれまで蓄積してきた情報をカテゴリー別に分類し、使用するイラストにもご意見をいただいて、次回までにSCが修正する。</li> <li>・1月9日開催の第1層協議体で、2層協議体の地域への周知への協力要請を行う。各組織には可能な協力の方法をそれぞれでご検討願う事を決定しました。</li> </ul>



開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和2年2月5日	協議体 (18回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初参加の方のご挨拶</li> <li>・地域での活動紹介</li> <li>・1月9日開催の第1層協議体の報告</li> <li>・仲間を増やすチラシづくり</li> <li>・協議体活動の定期発行の提案</li> <li>・困りごとや家事を代行する仕組みづくりについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ班長のT様とメンバー相互の自己紹介</li> <li>・困りごとや家事代行する仕組みづくりについてと福進協さくらまつりの計画について話し合いました</li> <li>代表のI様の「私見を挟まず当日話しあわれた内容のみをお伝えします。」とのお言葉の後、当日の会議の内容をご報告いただきました。</li> <li>・各々の組織の役員会議に福祉政策課から赴いて、協議体について説明を行うと報告がありました。また北一第二層協議体からの提案で、若年層を含めた参加者を増やす為に、各組織に協力の要請がありました。支え手になる人を増やそうという、具体的な検討の開始です。</li> <li>・文言の修正、レイアウトの修正、見栄えの良い地図への変更、地域資源の添削、イラストの追加と配置を話し合いました。</li> <li>・協議体の活動を地域に定期発信することが必要。その手段をこの場で話し合っていきたい。</li> <li>・高齢者相談センターが依頼を受けたが、ヘルパー不足も一因で解決できなかった事例の説明があった。協議体の目指す仕組みが未完成であるが故、対応できないお困り事が数多く存在することを痛感した。</li> </ul>
令和2年3月4日	協議体		<p>コロナで協議体は中止</p>

